

特別展

千家十職
X
みんなく
—茶の湯のものづくり
と世界のわざ

会期 六月二日(火)まで
会場 特別展示場

◆関連イベント
◆樂吉左衛門氏講演会
民博と私
—このたびのコレボレー
ション展について—

日時 五月三日(日・祝) 一三時
～一四時三〇分まで(開場二二
時三〇分)

会場 講堂(定員四五〇名)
参加費 無料・先着順

◆竹製田舎体験型ワークショップ
伝承技術と文化

〈竹で工芸品づくり〉
日時 五月六日(水・祝) 一三時
三〇分
参加費 三三〇円
定員 三〇名(事前申込制)

〈竹で楽器づくり〉
五月七日(日) 一三時三〇分
参加費 三三〇円
定員 三〇名(事前申込制)

〈わくわくお茶ワークショップ〉
五月二四日(日) 一一時
参加費 三三〇円
〈アフリカのおはなしと
音楽ワークショップ〉
五月二日(日) 一三時～一五
時

会場 自然文化園 平和のバラ
園北側周辺

◆料理の中の動詞
実施日 五月一六日(土)・二四
日(日)

会場 特別展示場二階
◆茶室の起し絵図を
作るぞ!

実施日 五月一七日(日)

会場 特別展示場二階
定員 各回五名(当日受付先着順)

◆親子の茶道教室
実施日 五月二〇日(土)

会場 第七セミナー室
参加費 三〇〇円
定員 各回八名(事前申し込み
優先・先着順)

問い合わせ 情報企画課情報企画係
電話 〇六―六八七八―八五三二
(平日九時～一七時)

企画展

「ナシ族画家が描く生
活世界—雲南省西北部
ではぐくまれた絵心—」

「チベット・ポン教の
神がみ」

会期 七月二日(火)まで
会場 常設展示場内

会期 六月二三日(火)まで
会場 常設展示場内
*研究者によるギャラリートー
クとワークショップ「トンパ文
字de書」を開催します。

◆外国人研究員の紹介
GARFAS, Robert
(ガルフィアス・ロベルト)氏
カリフォルニア大学アーヴ
アイン校人類学教授。研究
課題は「音楽展示の方法に関
する研究」。

期間 三月二四日～六月三〇日

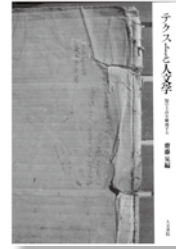
人類学関連学会協議会に参
加している各学会からバネリ
ストを募り、人類の飽くなき食
への希求をめぐって、それぞ
れの学問領域からアプローチす
る。基層的な個体の次元からグ
ローバルな社会の次元まで、多
様な考えを述べあい、学際的な
接続を試みたい。

●観覧料について
クレジットカード、プリペイ
ドカードでのお支払いができ
ようになります。

*詳細及びお申し込みにつ
いては、みんなくホームページ
をご覧ください。

刊行物紹介

■齋藤晃 編
『テキストと人文学
—知の土台を解剖する』
人文書院 定価:3,360円(税込)
書物や文書や図面を知的活動を支援す
る道具とみなし、人間とそれらの道具と
の関係を時代
や地域を横断
して総合的に
究明するため
の枠組みを構
築する。人文
諸科学の学際
的協働の成果。



■山中由里子 著
『アレクサンドロス変相
—古代から中世イスラームへ—』
名古屋大学出版会 定価:8,820円(税込)
大王が征服した広大な地域に流布した
伝承を、宗教・政治・歴史の分野にわた
って、アラブ・ペルシアの多様なテクス
トにたどり、語りや図像の担い手たちが
求めた「真実」に迫る。アレクサンドロス
が内包する本
質と、古代世
界の遺産を受
けいれ再解釈
していくムス
リムの精神史
を浮かび上
がらせた力作。



■小長谷有紀 編
『昔ばなしで親しむ環境倫理
—エコロジーの心を育む読み聞かせ—』
(新時代教育のツボ選書)
くろしお出版 定価:1,680円(税込)
「昔ばなし」に生きる先人の自然観を子
どもたちに伝え、エコロジーの心を育む
ことを目指した
副読本教材。地
球温暖化やCO2
削減など理科知
識に偏りがちな
環境教育に、古
くて新しい視点
からのアプロ
ーチを提案する。



みんなくゼミナール

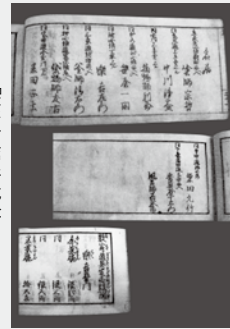
会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30~15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要
です。

第372回 5月16日(土)
「千家と職方」【特別展関連】

講師 筒井紘一(財団法人 今日庵茶
道資料館副館長)

茶匠の美意識を受けて職人が道具を
製作するというパターンがはじま
ったのが桃山時代です。利休と樂長次
郎、盛阿弥、辻与次郎、宗四郎など
との関係がそれにあたります。その関係
が定着したのが、千家の歴史と現在の十
職といわれる職人集団。そうした関係
の歴史的展開を考えてみます。



『茶道具定価段附』
安永九年(一七八〇)上・下二冊

第373回 6月20日(土)
「辺境のキリスト教美術をたず
ね—南米イエズス会ミッシ
ョンの聖堂装飾」

講師 齋藤晃(先端人類学研究部准教授)

スペイン統治時代、南米の辺境地域に
イエズス会が建設したキリスト教聖
堂の現状を紹介します。また、イエズ
ス会の宣教師と先住民が、感覚に訴え
る美術の力をめぐって交渉を繰り返
したことについてお話しします。



友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(先着順、申込不要、当日会員証をご提示ください)

第372回 6月6日(土)
時間●14:00~15:30 (13:30開場)
企画展「チベット ポン教の神がみ」関連
ポン教とチベット仏教

講師 立川武蔵(愛知学院大学教授・
民博名誉教授)
ポン教がどのような宗教かを説明する
のは容易ではありません。仏教と驚く
ほどの類似性を示しながら、独自の特
質ももちつけています。ポン教の歴史
とチベット仏教との関係など、ポン
教のさまざまな要素を解説します。

第74回 民族学研修の旅

食は全州にあり
—韓国の食文化体験

期間●6月13日(土)~15日(月)
ビビンバの本場として知られる全州を
訪問します。地元の人びとがかよう朝
市や、朝鮮人参の市場なども見学しま
す。また、伝統的な家屋を復元した宿泊
施設に1泊します。締め切りまであと
わずかです。お問い合わせは右記まで。

第373回 7月4日(土)
時間●14:00~15:30 (13:30開場)
シリーズ「先住民のいま」①
狩猟採集は「先住民」の権利か?
—アフリカにて

講師 池谷和信(民族社会研究部教授)
新シリーズでは、長年、先住民社会に関
わってきた研究者を講師に、「先住民」
をめぐる最新の動向や、歴史的経緯を
ふまえた各地域の現況をとりあげま
す。今回は、サン(ブッシュマン)の人び
とが関わった裁判を事例に、世界的な
ネットワークのなかですむ先住民運
動についてお話しいたします。

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜~金曜日午前9時から17時まで
にお願いします。
<http://www.senri-f.or.jp/>
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

常設展示場で開催中の、企画展「チベ
ット ポン教の神がみ」にちなみ、本館
ミュージアム・ショップでは、チベッ
ト文化域広範にわたり分布している
ポン教と、それとたがいに影響をおよ
ぼしあってきたチベット仏教に関連
した商品を取り揃えました。人びとの
祈りの心から生まれた品々を是非手
に取ってご覧ください。



チベット仏教関連商品【心に響く美しい
音色のティンジャー(4,200円)、マニ車
(5,250円)、法具 かつ摩(17,850円)】



ポン教関連商品【声明を取めたCD
(2,625円)、カラフルに刺繍されたお守
り(大1,260円、小525円)】

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
<http://www.senri-f.or.jp/shop/>
E-mail shop@senri-f.or.jp